

第1回臨時町議会

診療所を三月で廃止に

ゴミ収集袋は時価で(本年は二十円)

大川(橋門)は49年度着工

第一回臨時町議会が一月十七日開催され、四議案が原案どおり可決されました。

報告第一号

昭和四十八年度における期末手当の割合等の特例に関する条例

昨年十二月に、期末手当〇・五か月分のうち、〇・三か月分を繰上げ支給したことに伴うものです。

議案第一号

麻生町営住宅設置条例の一部を改正する条例

昨年町営住宅十二戸を大字富田六四五番地の三に新築したことによるものです。

議案第二号

麻生町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

これまで、ゴミ収集袋は一袋十円で配布していましたが、現在の物価高の關係から、これを時価により定めることに

したものです。なを、本年中は一袋二十円で配布する見込みです。

議案第三号

河川「大川」補強工事施行陳情について

小高土地改良区理事長羽生常太郎さん外三十五名からの陳情で、これについては、本年度からの年次事業として着工することになりました。

議案第五号

麻生町国民健康保険診療所条例を廃止する条例

医者不足や赤字等の問題から診療所を三月三十一日で廃止することになりました。

議案第六号

財産の管理及び処分について診療所廃止にともなう財産の管理及び処分については、

「診療所財産管理及び処分特別委員会」のなかで検討することになりました。

石油危機突破生活安定推進に関する決議について

次のとおり決議しました。石油融通の不円滑傾向にある現況では、諸物価の高騰・物資の偏在等直接我々麻生町町民生活に多大の脅威を与え

られていることは、まことに憂慮にたえない。このため、国・県では立法処置、機構の再編成等の施策

を実施したが、麻生町では「麻生町生活安定緊急対策本部」を設定し、県と連絡を密にし、効果的な施策を推進し、町民生活の安定と経済の円滑な運営を確保しようとしている。

国民年金の年金額と保険料が改定されました

国民年金は、みなさんの老後の生活を守り、病気やけがをしたときなどのその後の生活を守るため、年々その内容の充実がはかられていますが、一月から、年金額が引き上げられることになりました。

老齢年金を受けるには、本来は、二十五年度の被保険者期間が必要ですが、この期間を特例的に十年に短縮した。いわゆる十年年金は、従来月額五千円であったものが月額一万二千五百円に引上げられました。また、来年から支給開始予定の五年年金は、月額二千五百円から八千円に、本来の二十五年度の被保険者期間を必要とする老齢年金は月額八千円から二万円に引上げられ夫婦そろって附加年金制度にも加入していた場合は、夫婦で月額五万円の年金額となり

昭和49年統計調査実施予定表

期 日	調 査 の 種 類
毎 月	茨城県常住人口調査
毎 月	労働力調査
2月1日	茨城県農業基本調査
5月1日	商業統計調査
5月1日	学校基本調査
5月	消費者動向予測調査
6月1日	農産物流通調査
7月1日	就業構造基本調査
8月	消費者動向予測調査
9月1日	消費実態調査
9月1日	消費実態調査
10月1日	国勢調査調査区設定
11月	消費者動向予測調査
12月	工業統計調査
"	町民所得推計

49年の統計調査

昭和四十九年に実施される統計調査は、別表のようにきまりました。

現代は、情報化時代といわれているように、情報のもつ価値が著しく高まっています。その中でも、統計の果たす役割はきわめて重要であり、政治・経済の施策の基礎資料

利に結びつかなくなり、納期を守って、必ず納められますようお願いいたします。

町・県民税の申告は三月十五日までに正しく

納税につきましては、日頃深いご理解とご協力をいただきありがとうございます。ことしも、町・県民税の申告時期が近づいてきました。一月一日現在における住所所在地の市町村長に、前年の所得及び退職、山林等の所得や雑損、医療、扶養等各種控除を自から計算して申告をしていただくものです。

戸籍の窓口

へおめでた

氏名 世帯主 住所 中根 淑江 健 富田 六戸 勝美 正雄

贈与税の申告はじまる

二月一日から贈与税の申告の受付がはじまります。贈与税は、昭和四十八年中に個人から財産をもらった人

短歌

張り替へし障子の白さおのおのに
ふりかへりつつ夕餉につきぬ 高野 嘉
迎春の心も暗く物価高
遠くより駆けくる客も待ちて乗せる
幾山河経つつ亦も陰しく
湖岸廻りのバス日に二本
池の面に溶けぬ水の浮かびいて
春の日ざしをまぶしく返す 羽生たけ子
茜引く夕空を背に幼らは
手をふりながら家に駆けゆく 長峰美代子
新たな年を迎えておめでたし
歌と生涯ともに栄えん 柳町さかん
眠るままとされる今日の煩悩が
夜半の眼覚めのわれをさいなむ 箕輪 憲夫
言葉一つ責めあぐねたる一日の日
果てを軒下風に渡る紙屑 平野寿美子
葉牡丹は暑き土用に種子をまき
かんの寒さに花と結ばん 荒張 好喜

大竹 隆夫 吉次 粗毛 大里 一 与兵衛 島 並
茂木 聖子 末雄 麻生 高野 勝雄 清 小 高
齊藤 正一 秋 英 機 前川由美子 宗太郎 井 貝
内田 美穂 金次郎 杉山 清八 64 富 田
小林 秀也 富 保 鈴木 進 53 亀 吉 麻 生
谷仲 将則 義 徳 井上 なつ 68 二 夫
小倉さおり 昭 信 小沼東太郎 85 利 雄
小沼 正治 喜八郎 堀井 長吉 53 三 矢 幡
深沢 正晴 喜八郎 堀井 長吉 53 三 矢 幡
東山 孝幸 正 二 石 幡 永峰源之丞 82 仙太郎 矢 幡
堀越 恵子 次 男 小島 新衛 79 利 雄 矢 幡
佐々木 豪 政 一 矢 幡 小島 新衛 79 利 雄 矢 幡
堀 寿一 猛 男 片岡 昇 88 馨 矢 幡
小貫佳代子 平 牧 折笠 さの 82 勉 矢 幡
金田 栄子 衛 小 鹿 折笠 さの 82 勉 矢 幡
宮内 敦志 登 吉 小 鹿 折笠 さの 82 勉 矢 幡
山口 ルミ 源 吉 白 牧 折笠 さの 82 勉 矢 幡
鴨下 進一 三 次 行 方 柏葉 セイ 84 治 男 矢 幡
堀田 恵一 恒 雄 宮内 治平 72 実 宇 崎
菅谷 真紀 正 雄 於 下 高田市太郎 65 正 明
高野 智弘 正 一郎 島 並 大久保あき 79 卓 蔵
宮崎 右京 宮之助 島 並 大久保あき 79 卓 蔵